

SNSやオンラインゲームの 使い方に注意!



オンラインゲームが 危険な理由

- ①匿名性が高い
→匿名(ゲーム上の人格)でプレイすることが多い
- ②1対1のコミュニケーションが可能
→ゲーム上の待機場所に他プレイヤーが複数いない場合、1対1の閉鎖的なコミュニケーションに発展する可能性がある
- ③プレイを通して親密度が高くなる
→チームプレイで協力関係が構築され、チャット機能を利用してプレイすることで親密度が高くなる傾向がある

近年、SNSをきっかけにして、犯罪に加担してしまいう少年が増加しており、オンラインゲームを入り口とした「闇バイト」や「特殊詐欺」等への加担、「違法薬物」への接触が起きています。

オンラインゲームで知り合った者に海外へ誘い出され、特殊詐欺などの犯行に加担させられた少年が保護されています。

SNSは楽しくて便利ですが、危険もひそんでいて、親子で理解することが大切です。

オンラインゲーム
が入り口となり...



**犯罪に加担
してしまう
可能性が!**

薬物乱用

覚醒剤や大麻、コカイン、ヘロイン、MDMAなどの違法薬物の情報に触れ、誘惑に惑わされてしまうこともあります。市販薬の過量服薬(オーバードーズ)も薬物乱用です。最悪、死に至ることもある危険な行為です。



大麻に狙われる若者たち

令和6年における大麻事犯の検挙人員(全国)のうち、20歳代以下の若年層が大麻事犯の前検挙人員の7割以上を占めている。

闇バイト

「高収入」「即日即金」「簡単」などの甘い言葉に誘われ、特殊詐欺や強盗などの犯罪に加担させられる少年もいます。個人情報を簡単に教えてしまうと、脅され、簡単にやめられなくなってしまいます。



「使い捨て」にされる少年たち

後でまとめて支払うと言われ、結局、一度も報酬をもらえなかった。海外に誘い出され、犯行に加担させられた。

守れ!

子供の健全育成のために

Y M G T

山形県警察

山形県警察本部
生活安全部
人身安全少年課
令和7年夏号

ペアレンタルコントロール

保護者が子供の発達段階やライフサイクルに応じてインターネット利用を適切に管理すること(ペアレンタルコントロール)が大切です。

インターネットの利用環境は急速に変化することから、それに合わせて保護者の意識向上がより重要です。

フィルタリングを設定し、有害な情報から子供を遠ざけることも必要です。

家庭内でのルールづくり

SNSやオンラインゲーム等の不適切な利用によるリスクについて家庭で話し合い、正しい生活習慣づくりやインターネット利用のために家庭内ルールを作りましょう。

ルールづくりは、インターネットの学習利用等が増えていることも踏まえながら、年齢、知識、能力等に応じたものになるようにし、定期的に見直すことが重要です。



少年相談窓口

お子さんのこと等で困りの際は、ご相談ください。
◆専門の資格(公認心理師)を有する職員が対応します。

ヤングテレホン 023-642-1777
少年相談メール 県警ホームページ内から

山形県警察本部人身安全少年課少年サポートセンター

